

## 国際センター通信 (No. 42)

### 委員会活動紹介 ダイバーシティ推進委員会

土木学会の個人会員数 37,284 人 (2015 年 3 月末) のうち 4.3%、1,592 人が女性である。女性の割合は正会員では 3.1%だが、学生会員では 11.9%と 1 割を超える。20 年前に比べ女性の正会員数は 3 倍になった。

ダイバーシティ推進委員会発足のきっかけは、米国土木学会 (ASCE) の初の女性会長、パトリシア・ギャロウェイ氏の 2004 年の来会である。同氏の要請で開催された特別座談会に集まったメンバーを中心に、ジェンダー問題検討特別小委員会が設置され、男女共同参画小委員会、ダイバーシティ推進小委員会となり、2014 年度よりダイバーシティ推進委員会となった。ジェンダー問題の構造分析、女性会員の活躍推進の支援や啓発、ダイバーシティ推進に向けた活動を、およそ 20 名の委員とともに進めてきた。また、地盤工学会、土木技術者女性の会など外部の組織とも密接な連携を保っている。

委員会の主要な成果を 3 つ紹介する。

(1) 情報収集と提供：2010 年頃より、事務局の協力も得て土木分野の女性活躍やダイバーシティ推進に関する報道や研究論文等を収集し、委員会のサイトで書誌情報を公開している。

(2) 書籍の発行：2013 年に、地盤工学会、土木技術者女性の会の協力を得て、土木学会創立 100 周年記念出版の第 1 号として、書籍「継続は力なり -女性土木技術者のためのキャリアガイド-」(図 1) を発行した。女性土木技術者のキャリア継続のために、ロールモデルや情報入手窓口、年表等の資料を掲載した。

(3) 行動宣言の発表：2015 年には「ダイバーシティ&インクルージョン (D & I) 行動宣言」(図 2) を策定した。多様な人材が対等に関わり、社会基盤整備を通じて社会に貢献できる環境を目指し、「認める」「活かす」「育てる」の 3 つのキーワードで分類される行動と主体別の役割を示した。今後数年間の当委員会の活動の指針となるものである。

女性の会員数と土木界での存在感が増しつつある現在、ダイバーシティ推進委員会はその先を見据えて D&I の推進に取り組んでいる。多様な人材が多様な働き方で活躍できる環境の実現をめざして活動している。



ダイバーシティ推進委員会 委員長  
東京大学 桑野玲子



図 1：書籍表紙

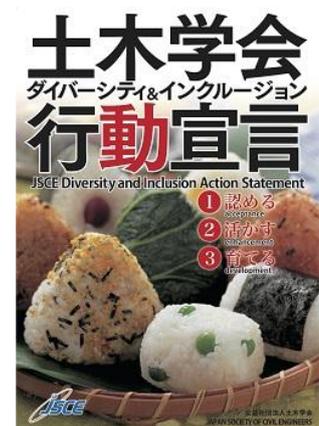


図 2：D & I 行動宣言ポスター

## 第5回世界工学会議 (WECC 2015), Women in Engineering 参加報告

第5回世界工学会議 (World Engineering Conference and Convention 2015, WECC 2015) が、京都国際会議場で開催された (2015年11月29日～12月2日)。同会議は4年に1度開催される国際会議であり、工学のあらゆる分野を横断して技術の進化と社会への貢献の議論が行われる。ダイバーシティ推進委員会は、(一社)土木技術者女性の会 (SWCE: The Society of Woman Civil Engineers)、(公社)日本技術士会と共同で、Track 9 Women in Engineering のうち、パネルディスカッション OS 9-2 の企画、運営に関わった。OS 9-2 の前半は ICT、後半は土木分野である。(Track 9 のプログラム (英語) は [コチラ](#))



ファシリテータの日下部治氏

セッションオーガナイザーの岩熊まき氏 ((株) 東京建設コンサルタント)のもと、日下部治氏 (茨城工業高等専門学校校長) をファシリテータにお迎えし、阿部玲子氏 (オリエンタルコンサルタンツ・グローバル インド現地法人)、Lee Ji-Hyung 氏 (The Malgeun Environmental Consulting P.E. Office)、今村聡氏 (大成建設 (株))、筆者の4名が講演した。筆者は “History of women civil engineers in Japan - Roles of SWCE and JSCE” と題し、日本における30数年の女性土木技術者の歴史を紹介し、土木技術者女性の会は人材とロールモデルのプール

を、土木学会をはじめとする学会は関係者と情報の機会を提供してきたことを紹介した。日本、韓国、インドにおける女性技術者の歴史や課題、最近の話題など、笑いの絶えない楽しいパネルとなった。また、ICT分野の関係者との交流ではマネジメント層をめざす女性がいることも珍しくないことがわかったのは大きな成果である。

なお、土木技術者女性の会は寄附を原資として12名の若手技術者、研究者、学生に登録料と旅費の一部を助成した。参加者のうち2名がショートコメントを発表した。詳しくは同会のウェブサイトをご覧ください。(<http://www.womencivilengineers.com/archives/1436>)



パネリスト (左から阿部氏、Lee 氏、今村氏、筆者)



会場の様子

【記：ダイバーシティ推進委員会幹事長 東京工業大学大学院 研究員 山田菊子】

## ITS 世界会議ボルドー2015 ACECC TC-16 ワークショップ活動報告

アジア土木学会連合協議会（ACECC : Asian Civil Engineering Coordinating Council）TC（Technical Committee）-16 は、「アジア太平洋地域における ITS（高度道路交通システム）を用いた都市交通問題の解決」をテーマとする技術委員会である。2012 年 3 月 1 日に東京で開催された ACECC 技術委員会調整会議において、土木学会実践的 ITS 研究委員会の提案により設置された。TC-16 は、アジア各国の共通の課題である、経済発展と自動車の普及に伴う急激な都市化による交通渋滞、事故、環境悪化といった都市交通問題に対して、ITS による解決策を整理し、各国の経済発展と国土開発の段階に応じた ITS の導入方法について議論することを目的としている。

2015 年 10 月に開催された「ITS 世界会議ボルドー2015」において、牧野浩志国土技術政策総合研究所 ITS 研究室長（TC-16 委員長）、上條俊介東京大学准教授（TC-16 副委員長）、Edward Chung Queensland University of Technology 教授、筆者らは、TC-16 ワークショップを開催した。

ワークショップでは、アジア諸国の政府関係者や技術者に対し、ITS を用いた都市交通問題の解決や ITS の導入プロセスを解説する「ITS 導入ガイド」の作成方針について議論を行った。議論の結果、「ITS 導入ガイド」で解説している ETC、駐車場決済、情報収集、情報提供、交通マネジメント等の ITS アプリケーションに、TC-16 メンバー各国（タイ、台湾、オーストラリア、マレーシア、フィリピン等）から事例を募集して盛り込むこととなった。「ITS 導入ガイド」は、2016 年夏までを目途にとりまとめて発行し、2016 年 8～9 月に開催される第 7 回アジア土木技術国際会議（CECAR-7 : Civil Engineering Conference in the Asian Region）において成果発表を行う予定である。

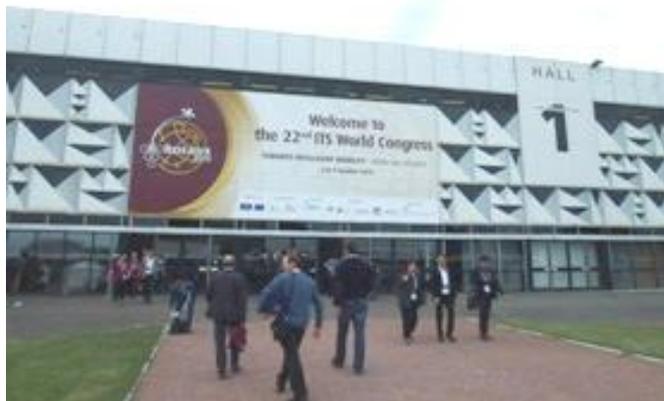


写真 1 ITS 世界会議会場



写真 2 TC-16 ワークショップの様子

【記 : ACECC TC-16 Secretary 国土技術政策総合研究所 ITS 研究室 研究官 築地貴裕】

## イベントカレンダー

- 2016年4月8日・・・土木学会グローバルビジョン講演会 2016 建設産業のグローバル戦略  
「建設産業の M&A に学ぶ (AECOM 社)」 (東京 土木会館講堂)  
<http://committees.jsce.or.jp/kokusai/node/98>

## お知らせ

- ◆土木学会誌の特集記事の概要を JSCE の Website (英語版) にアップしました。  
<http://www.jsce-int.org/pub/magazine>
- ◆土木学会コンクリート委員会 ニュースレター No.44 が発行されました。  
<http://www.jsce.or.jp/committee/concrete/e/newsletter/Newsletter.htm>

## 配信申し込み

「国際センター通信」配信の申し込みは以下の URL よりお願いいたします。また、周囲の方に国際センター通信をご紹介いただければ幸いです。よろしくお願いいたします。

「国際センター通信」配信希望者 登録フォーム

- ・日本語版 : (<http://committees.jsce.or.jp/kokusai/node/31>)
- ・英語版 : (<http://www.jsce-int.org/node/150>)

## 投稿記事募集します

国際センター通信では、会員の皆様から幅広く投稿記事を募集しています。テーマはプロジェクト紹介、技術紹介、ご自身の体験談などです。文字数は 800 字程度で和文または英文でご投稿ください。記事投稿の詳細はコチラ>>> (<http://committees.jsce.or.jp/kokusai/node/47>)

## 英語版 Facebook

国際センターの英語版 Facebook です。直近の国際センターの活動について紹介していますので、ぜひご覧ください。(<https://www.facebook.com/JSCE.en>)

---

【ご意見・ご質問】: JSCE IAC: [iac-news@jsce.or.jp](mailto:iac-news@jsce.or.jp)  
本通信をより話題性に富んだ内容にするため、皆様のご意見やコメントをお聞かせください。